

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ホテル京都清水五条新築工事	階数	地上7F地下1F
建設地	京都府京都市中京区五条下町一丁目（東入野町7番地1、11番地、五条橋東詰丁44番地）	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	150人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年5月 予定	評価の実施日	2017年12月13日
敷地面積	362㎡	作成者	松本拓也
建築面積	289㎡	確認日	2017年12月14日
延床面積	2,129㎡	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・室内環境、サービス性能への配慮 ・敷地内外環境への配慮を行う ・建物エネルギー性能の高効率化、リサイクル材の活用に努めている 	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・界床遮音性能への配慮を行う・共用部、宿泊部で、十分な昼光率を確保している	・耐用年数の長い、外壁仕上材、給排水管を採用している・宿泊部は高い壁長さ比率を確保し、空間のゆとり配慮している	・植込を設置している
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・LED照明等の高効率設備機器を採用し、設備システムの高効率化に努めている	・節水型水栓に加え、節水型便器を採用している・LGS下地、OAフロア等の解体時における、リサイクル性に配慮している・防水工事のプライマー採用等、化学物質の使用削減に努めている	・エコジョーズを採用し、大気汚染防止に努めている

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される